

| | |
|--------------|--|
| ■ 支部 だ よ り ■ | |
|--------------|--|

関東・甲信・静支部

平成22年度全国環境研協議会関東甲信静支部の活動について、環境測定分析統一精度管理ブロック会議と支部総会開催予定を報告します。

1. 環境測定分析統一精度管理ブロック会議

川崎市公害研究所が担当機関となり、会員等17機関、27名の出席を得て開催しました。調査結果の報告、特別講演、ディスカッションが行われました。会議の概要は次のとおりです。

日時：平成22年7月15日(木)10:00～12:00

場所：川崎市産業振興会館11階第6会議室(神奈川県川崎市幸区堀川町66-20)

(1) 議 事

ア 環境測定分析統一精度管理調査について
環境省水・大気環境局総務課環境管理技術室から調査目的、調査計画等について説明がありました。

イ 平成21年度環境測定分析統一精度管理調査結果について

(財)日本環境衛生センター東日本支局環境科学部環境対策課から調査結果の概要報告がありました。

(2) 特別講演

「環境測定分析におけるダイオキシン類等の簡易測定法について」と題し、摂南大学理工学部生命科学科准教授 青笹治氏に御講演いただきました。

(3) ディスカッション

環境測定分析検討会統一精度管理調査のあり方や平成21年度調査結果の特徴等について、調査部会検討員の助言者を交えて活発な議論が行われました。

2. 平成22年度全国環境研協議会関東甲信静支部総会の開催予定について

平成22年度全国環境研協議会関東甲信静支部総会は、開催担当機関である山梨県衛生環境研究所の協力を得て次のとおり開催する予定です。

日時：平成22年10月22日(金)午後から

場所：KKR 甲府ニュー芙蓉

(1) 議 事

ア 平成21年度全国環境研協議会関東甲信静支部収支決算

イ 平成22年度全国環境研協議会関東甲信静支部収支予算(案)

ウ 平成21年度事業報告・平成22年度事業(案)

エ 平成23年度役員および総会等の開催地について

オ 全国環境研協議会会長賞候補者の推薦について

カ 支部長表彰について

キ 専門部会事業報告

ク その他

(2) 支部長表彰式

中国・四国支部 (島根県)

1. 平成22年度中国・四国支部会議

(担当機関：香川県環境保健センター)

平成22年5月13、14日に高松市において、全体会議と所長・企画部会、大気環境部会、水環境部会(衛生部門～微生物部会、理化学部会)を開催し

ました。

(1) 全体会議

・多年、業務の推進に顕著な功績のあった6氏(島根県荒木卓久/岡山県鷹野洋/広島県後田俊直/山口県角野浩二/愛媛県大滝勝/広島市

| |
|---------------------|
| ■ 支部 だ よ り ■ |
|---------------------|

小中ゆかりの各氏)に対し支部長表彰を行った。

- ・支部長報告(活動報告, 事業計画等)を行い, 質疑のち承認された。

(2) 部 会

- ・所長/企画部会; 中国四国支部会議の運営の簡略化等による経費削減, 第49回全国衛生化学技術協議会年会(平成24年度)の開催への対応, 高額分析機器の保守点検期間への共同対応, 研究の質を向上させるための取り組みなどについての協議と情報交換。
- ・大気環境部会; 低周波音の苦情発生時の行政機関との役割分担状況, 微小粒子状物質の環境基準追加に伴う対応状況, 新しい航空機騒音環境基準への対応状況などについての情報交換。
- ・水環境部会; H21年度環境基準項目に追加された塩化ビニルモノマー測定に関わる対応(機器整備, 分析法等), 正確で信頼性のある試験検査を実施するための取り組み, 化学物質関連調査の実施状況などについて情報交換。

(3) 特別講演

- ・二日目には「環境化学物質と健康」と題して, 香川県立保健医療大学那須 滋准教授から御講演をいただいた。

2. 平成22年度環境測定分析統一精度管理中国・四国支部ブロック会議

(担当機関: 鳥根県保健環境科学研究所)

平成22年7月9日に松江勤労者総合福祉センターにおいて開催され, 検討委員2名, 環境省1名, 日本環境衛生センター2名を迎えて, 会員機関の分析担当者等22名が参加しました。

○議事

- ・環境測定分析統一精度管理調査について(環境省水・大気環境局総務課環境管理技術室 高野室長補佐)
- ・平成21年度環境測定分析統一精度管理調査結果について(日本環境衛生センター東日本支局環境科学部環境対策課西尾課長)

○講演

「環境測定分析におけるダイオキシン類の簡易測定について」(愛媛大学農学部環境計測学 松田助手)

○ディスカッション

- ・調査結果および分析機関の取組, 今後の課題等について

助言者/松田助手, 岡井主任研究員(産業技術総合研究所地質情報研究部門)高野室長補佐, 西尾課長, 並木課長代理

3. C型共同研究「光化学オキシダントと粒子状物質等の汚染特性解明に関する研究」グループ会議

—平成21年度第2回中国四国グループ・九州グループ拡大グループ会議—

平成21年12月17~18日に福岡県粕屋合同庁舎において, 中国四国支部会員(9自治体)および九州支部会員(11自治体)が参加しグループ会議を開催しました。

前回の会議(平成21年8月開催)で解析することとした光化学オキシダント(Ox)および浮遊粒子状物質(SPM)高濃度エピソード(7事例)についての解析結果の報告および意見交換を行い, 報告書とりまとめの方向性について全体討議。

各地域グループに分かれ, 中国四国グループでは下記の内容について協議。

2007年7月24~29日高濃度Oxエピソード(近畿東海グループとの合同解析事例)について, 解析結果の報告と意見交換を行い, 報告書とりまとめの方向性について討議。

基本解析地域のまとめについて, 今後の解析の進め方および報告書とりまとめの方向性について討議。

夜間の高濃度Ox発生時の対応に関するアンケート調査について, 調査結果とりまとめの進捗状況の確認, 最終とりまとめの方向性について討議。

支部事務局(鳥根県保健環境科学研究所)